

分野	専門分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	地域・在宅看護概論Ⅰ		学年時期	1年次前期		
担当講師 (実務経験)	専任教員（看護師：実務経験あり）					
科目目標	暮らしを理解するとともに、暮らしが健康に与える影響を理解する					
回数	時間	授業内容		授業方法	担当講師	
1	2	暮らしとは 暮らしと健康の関係		講義	専任教員	
2	2	地域・在宅看護の役割 暮らしと地域のかかわり		講義	専任教員	
3	2	暮らしの基盤としての地域の理解		GW	専任教員	
4	2	地域の特徴を調査する		調べ学習	専任教員	
5	2	地域の特徴を調査する		調べ学習	専任教員	
6	2	地域調査のまとめ		GW	専任教員	
7	2	地域の生活環境が健康に与える影響		GW発表	専任教員	
8	1	終了試験		試験	専任教員	
評価方法		発表内容+発表資料（グループ評価）40％ 終了試験+出欠席・遅刻（個人評価）60％				
評価基準		60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト		系統看護学講座 地域・在宅看護論①地域・在宅看護の基盤				
参考文献						
備考		調べ学習では、地域の特徴を調査し、地域とそこで生活する人々を理解し、健康障害をもっても安心して暮らせる地域にしていくなために、地域の実情を知り課題を考える。				

分野	専門分野		単位数	2	時間数	30
授業科目	地域・在宅看護概論Ⅱ		学年時期	2年次前期		
担当講師 (実務経験)	1 専任教員（看護師：実務経験あり）					
科目目標	地域・在宅看護論の対象と看護の基盤となる概念を理解する					
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師
1	2	地域・在宅看護の対象者 家族の理解			講義	1
2	2	地域における暮らしを支える看護 看護師の基本的な姿勢			講義	1
3	2	地域包括ケアシステムと地域共生社会			講義	1
4	2	地域での暮らしにおけるリスクの理解・災害対策			講義	1
5	2	地域・在宅看護が提供される多様な場			講義	1
6	2	地域・在宅看護における多職種連携、社会資源について			講義	1
7	2	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用			講義	1
8	2	フィールドワーク準備（介護保険サービス等社会資源の種類）			講義	1
9	2	診療所(訪問診療)・看護小規模多機能型居宅介護・通所サービス・介護予防教室・特別支援学校・児童発達支援事業所等			フィールドワーク	1
10	2				フィールドワーク	1
11	2	フィールドワークまとめ			GW	1
12	2	フィールドワーク発表			GW発表	1
13	2	地域・在宅看護マネジメントとは			講義	1
14	2	事例を通して考える退院調整の意義			講義・GW	1
15	2	終了試験			試験	1
評価方法		発表内容+発表資料（グループ評価）40％ 終了試験+出欠席・遅刻（個人評価）60％				
評価基準		60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト		系統看護学講座 地域・在宅看護論①地域・在宅看護の基盤 医療福祉総合ガイドブック NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会編集 医学書院				
参考文献		訪問看護活用ガイド～在宅医療をはじめる方へ～ 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団				
備考		フィールドワークでは、多様な場での看護の実際を理解する内容とする。学校周辺地域の、種々の施設等を小集団学習で、その法的根拠、看護の実際、看護の役割などについて調べ、全体で共有する。さらに全体で、地域での看護の役割について考える機会とする。				

分野	専門分野		単位数	2	時間数	30
授業科目	地域・在宅看護方法論Ⅰ		学年時期	2 年次後期		
担当講師 (実務経験)	1 専任教員（看護師：実務経験あり） 2 訪問看護師（実務経験あり）					
科目目標	地域で生活する人々とその家族の看護について理解する（看護過程含む）					
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師
1	2	ICFの考え方・生活機能アセスメントと在宅における看護過程の特徴			講義	1
2	2	ICFを用いた看護過程の展開			講義	1
3	2	訪問看護に関する記録とその意味付け			講義	2
4	2	慢性疾患の療養者の事例展開			講義・GW	2
5	2	情報収集 アセスメント			講義・GW	2
6	2	在宅看護過程の展開方法			講義・GW	2
7	2	在宅看護過程の展開方法			講義・GW	2
8	1	中間試験			試験	2
9	2	在宅療養時期別の看護の実際（導入期・安定期）			講義	1
10	2	在宅療養時期別の看護の実際（慢性期・急性期・終末期）			講義	1
11	2	終末期療養者の事例展開			講義・GW	1
12	2	終末期療養者の事例展開			講義・GW	1
13	2	難病療養者の特徴			講義	1
14	2	難病療養者の在宅療養支援の実際			演習	1
15	2	難病療養者を支える支援制度			講義・GW	1
16	1	終了試験			試験	1
評価方法		1 発表内容+発表資料（グループ評価） 2 終了試験+提出物+出席・遅刻（個人評価）				
評価基準		60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ) 配点率 1：40％ 2：60％				
テキスト		系統看護学講座 地域・在宅看護論②地域・在宅看護の実践				
参考文献		訪問看護活用ガイド～在宅医療をはじめる方へ～ 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団				
備考		地域で療養生活を送る人と、家族の看護に必要なアセスメントについて学ぶ。健康レベルに応じた看護や場の移行に伴う看護を学習し、継続看護の意義や方法についても学ぶ。				

分野	専門分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	地域・在宅看護方法論Ⅱ		学年時期	2 年次後期		
担当講師 (実務経験)	訪問看護師（実務経験あり）					
科目目標	地域で生活する人々とその家族の看護について理解する （暮らしを支える看護技術）					
回数	時間	授業内容		授業方法	担当講師	
1	2	訪問看護の実際（訪問マナー・訪問看護開始までの流れ）		講義・演習	訪問看護師	
2	2	在宅における日常生活援助技術（移乗・移動、療養環境調整）		講義・演習	訪問看護師	
3	2	在宅における日常生活援助技術（服薬管理、清潔ケア）		講義・演習	訪問看護師	
4	2	在宅における医療的ケアの実際（HOT、排痰ケア、人工呼吸管理、インスリン自己注射、ポート管理）		講義・演習	訪問看護師	
5	2	在宅における医療的ケアの実際（経管栄養管理、CAPD、膀胱内留置カテーテル・ストーマ管理）		講義・演習	訪問看護師	
6	2	多職種連携・協働		講義・演習	訪問看護師	
7	2	在宅療養を支える健康危機管理、災害対策		講義・演習	訪問看護師	
8	1	終了試験		試験	訪問看護師	
評価方法		終了試験の成績(100点満点)で評価する				
評価基準		60点以上で合格　60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト		系統看護学講座　地域・在宅看護論②地域・在宅看護の実践				
参考文献		訪問看護活用ガイド～在宅医療をはじめの方へ～　公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団				
備考		在宅療養に必要な医療機器管理、観察、異常の早期発見の基本事項について、療養者および家族とともに管理する視点を持ち、その管理やケアの実際を知る。				